

婦中朝日すいか産地活性化協議会

産地提案書

すいか農家
募集

お問い合わせ

富山県富山農林振興センター

担い手支援課 園芸振興班
富山市諏訪川原1丁目3-22

TEL 076-444-4523

富山市 農林水産部

農林事務所 農業振興課
富山市高内365番地

TEL 076-468-2449

令和8年3月策定

婦中町朝日地区はこんな場所

富山市中心市街地から車で20分程度に産地があり、肥沃な粘質土壌の農地で、統一した栽培方法により、完熟した高糖度（糖度14～15度）のすいかを栽培しています。

当地区では空き地・空き家、新築可能な宅地情報の提供を行っており、移住・就農を希望する方が安心して住まいを確保できる環境が整っています。保育所や小学校もあり、子育て世代にも暮らしやすい地域です。



朝日すいかの特徴

すいか栽培は、昭和27（1952）年ごろから始まり、品質の揃ったすいかを産地の直売所で一元販売することにより、ブランドの維持を図っています。その美味しさ・甘さから、県内外からのリピーターも多く、8月に開催される「すいか祭り」では、毎年、長蛇の列ができます。



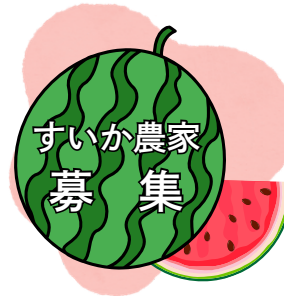
技術習得サポート

省力・高品質安定生産技術を、毎年開催する研修会（年6回）等で会員に周知するとともに、研修会の参加状況や栽培状況に基づき会員に「朝日すいか栽培認定書」を交付するなど、品質管理を徹底しています。「はくさい」や「だいこん」等「すいか」以外の品目の作付けを検討する場合でも、JAあおば婦中朝日青果物出荷組合 そ菜部会による栽培技術・販売支援が可能です。

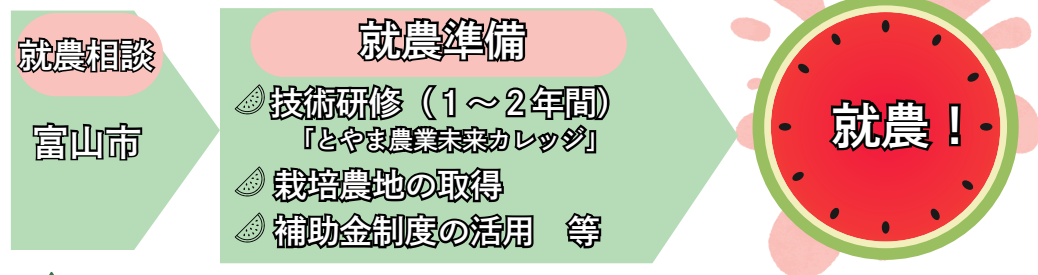


求める人材【3名募集】

- 朝日地区において、すいか栽培を将来にわたって継続的・意欲的に取り組むことが出来る方
- 朝日地区の地域活動に積極的に参加できる方
- 農業未経験者の方は、とやま農業未来カレッジで一年以上、基礎的な研修を受けることが可能な方



就農までの流れ



すいか栽培の1年 | 10aあたりモデルデータ

4月	5月	6月	7月	8月
ほ場準備	定植	管理（つる揃え、摘心、摘果など）		収穫
	保温		殺菌剤散布	

売上高 (10aあたり) 108万円 - 経費 (10aあたり) 30万円 = 所得 (10aあたり) 78万円

※モデルデータであり、所得を保証するものではありません。

支援体制

婦中朝日すいか産地活性化協議会、JAあおば婦中朝日青果物出荷組合、関係機関（JAあおば、富山県、富山市）が連携して、支援・サポートを行います。

- 栽培技術習得
- 栽培農地の取得
- 補助金制度の活用
- 必要な設備・導入資金の調達
- 移住・定住